

Soccer News Shiga

サッカー ニュース し が

【発行】(社)滋賀県サッカー協会
 【責任者】専務理事 奥村 弘
 〒524-0212 滋賀県守山市服部町2439
 ビッグレイク内
 TEL 077-585-0982
 FAX 077-585-0983
 e-mail shigafa@oregano.ocn.ne.jp
 URL http://www.shigafa.com
 【印刷】株式会社スマイ印刷工業

滋賀の佐川急便SC JFL優勝



2007年度の活動状況

(1) 目標

- 1) 2006年度JFLの加盟チームであった佐川急便東京SCと佐川急便大阪SCが統合、2007年度よりホームを滋賀県に移しJFLに臨んだ。選手は東京から15名、大阪から16名計31名で構成、監督は大阪の監督であった中口が、ヘッドコーチには東京の監督であった田中が任命され1月13日より新チームとしてスタートした。
- 2) 佐川急便SCの目標は東京が前年度JFL2位、大阪が3位であった事もあり、JFL優勝をまず第1とした。次に地元となる滋賀県及び守山市、大津市を中心としてその地域に根ざしたチームとして地域に貢献する事を掲げた。
 その観客動員の目標を年間34試合3万人(1試合辺り1760名)として積極的に観客動員を図る事とした。

(2) 成果

- JFLリーグが開幕した初戦はまだ東京、大阪両軍の融合は未完成のなか硬いスタートとなり1-0で辛勝したが、2戦目は1-2で敗退、前途多難を窺わせた。しかし3戦目流通経済大学戦で本来の攻撃力が爆発。4-0と圧勝したことでチームにまとまりが出てきた。固定した先発メンバーでの闘いは次第に強さとなり、結局前期17試合ではトップで折り返し、天皇杯自動出場権を得た。後節も順調に勝ち点を積み重ね、優勝が決まったのは11月17日。その日2位のロッソ熊本が引き分けのため戦わずして優勝が決まった。4試合を残しての優勝であった。
- 26勝5分3敗、勝点83は、2位のロッソ熊本との差が14と圧倒的な優勝であった。得点81点は新記録。失点は31と少なく、最少失点の栃木の29点には及ばなかったが守備も安定していた。フェアプレー賞も横河武蔵野FCと同じ1位であったが51.5ポイントで惜しくも50ポイント以下にできず賞を貰う事はできなかったが優勝チームとして誇らしいフェアプレーに徹していたことを示した。
- 2) JFLではMVPに御給、得点王30点で御給、更にベストイレブンに森田(GK)、影山、富山(DF)、山根、堀、嶋田(MF)、御給(FW)の7名が選出された。また当然、最優秀監督には佐川急便SCの中口が選ばれた。
 - 3) 天皇杯はJFL枠で3回戦から出場し、3回戦のパンディオンセ神戸には4-0と圧勝。4回戦横浜F・マリノスには1-4と完敗したが、課題が見えた試合であった。
 - 4) 地域貢献については開幕当初より、ホームの試合の前に地元チームへのフットボールクリニックを実施。その成果をもとに9月にSAGAWA SHIGA FOOTBALL ACADEMYを開校した。小学校3年から6年まで69名の生徒が毎週水、金、佐川の狩野コーチのもと指導をしている。
 - 5) 観戦者数は結果として1試合平均924人に終わり達成率50%であった。JFLの知名度は低く、今後は試合告知に全力をあげる必要があると実感した。
 - 6) その他、地域のお祭り、イベントへの参加を通じて、PRを図った。(守山市夏祭り、秋祭り、栗東市イベント等)

2008年度の活動方針

“SAGAWA SHIGA FC” に改称

(1) 体制

- 1) 今年からはチーム名をSAGAWA SHIGA FCと改称し、地名を付した地域のチームとして再出発する事とした。監督は昨年ヘッドコーチであった田中が就任。キャプテンには守備の要の影山が任命され新たな挑戦を始める。2連覇が目標であることには変わらない。
- しかし、得点王の御給がJ2横浜FCへ、嶋田がJ2に昇格したFC岐阜へ移籍した事での得点力低下が予想されるが、昨年出場していないサブ組も2006年度は東京大阪でレギュラーであり、フォワードの選手の奮起を促し期待したい。今年はチャレンジの年として新たな気持ちで戦っていく。

(2) 地域貢献

- 1) 引き続き、地元のイベント等には積極的に参加し、地域貢献を更に取り進めたい。

(3) 観客動員

- 1) 観客動員は昨年の目標年間3万人を達成すべく、上記地域貢献を果たす中、積極的に動員を図る。
- 2) FC Mi-OがJFLへ昇格した事でローカルダービーが出現、お互い切磋琢磨し滋賀県のサッカーを盛り上げたい。



SAGAWA SHIGA FOOTBALL ACADEMYの様子



全国社会人で優勝!

そして JFL昇格!!



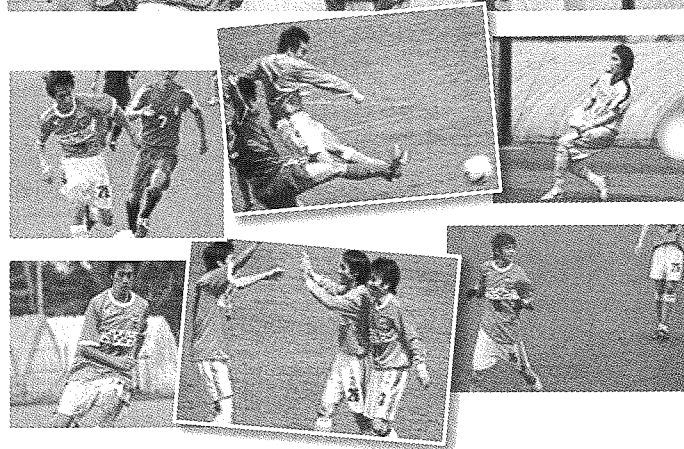
～JFLへの軌跡～

■第43回全国社会人サッカー選手権大会 優勝

— 2007.10.13～17 大分市 —

1回戦	vsホンダロックサッカー部	2-1
2回戦	vs町田ゼルビア	2-0
3回戦	vsニューウェーブ北九州	3-1
準決勝	vsVファーレン長崎	1-0
決勝	vs矢崎バレンテ	3-1

この大会で全国7000チームのトップに頂ち地域リーグ出場権を勝ち取る。



■第31回全国地域リーグ決勝大会

予選ラウンド (11/23～25 長野県松本市)

	Mi-O	中国	松本	徳島	勝点
FC Mi-O びわこ Kusatsu (関西/滋賀) 社会人枠		9○1	2○0	2○1	9
セントラル中国 (中国/鳥根) 2位	1●9		0●4	0●6	0
松本山雅 (北信越/長野) 1位	0●2	4○0		4○0	6
徳島ヴォルティス・アマチュア (四国/徳島) 1位	1●2	6○0	0○4		3

JFLに昇格する条件

14チームをグループにわけてリーグ戦を行う。
各リーグ上位1チーム決勝リーグを行い、2チーム自動昇格
できるチームが決定する。

決勝ラウンド (11/30、12/1・2 埼玉県熊谷市)

	Mi-O	岡山	北九州	神戸	勝点	勝利	PK勝	PK敗	敗戦	得点	失点	得失点
FC Mi-O びわこ Kusatsu (関西/滋賀) 社会人枠		0●1	1○0	1△1 PK 3-5	4	1	0	1	1	2	2	0
ファジアーノ岡山 (中国/岡山) 1位	1○0		1△1 PK 4-3	0△0 PK 4-2	6	1	1	1	0	2	1	1
ニューウェーブ北九州 (九州/福岡) 1位	0●1	1△1 PK 3-4		2○0	4	1	0	1	1	3	2	1
バンディオンセ神戸 (関西/兵庫) 1位	1△1 PK 5-3	0△0 PK 4-2	0●2		4	0	2	0	1	1	3	-2

今年はFC Mi-Oにとって勝負の1年でした。2月の西日本選手権大会で優勝し、その勢いのまま関西リーグにのぞんだのですが、ケガや出場停止の選手が相次ぎ、思うようなサッカーが出来ずチームとして苦しい時期もありました。しかし、天皇杯滋賀県大会で優勝した事、また10月に大分県で行われました全国社会人選手権大会で5日間連戦という厳しい日程にも関わらず参加総数7000チームの頂点、すなわち社会人日本一に輝いた事で、私達は自信を取り戻し、自分達のサッカーが確立され選手のプレーはどんどん良くなっていきました。また、今年は監督をはじめとする15名の選手をMi-Oから滋賀県国体チームに輩出し、滋賀県成年男子としては初となる、本大会出場に大きく貢献しました。選手たちは国体本大会という大きな舞台でいろいろな事を学んだと思います。

そして、11月23日から全国社会人選手権大会を優勝した事により出場権を得た、全国地域リーグ決勝大会が始まり、2週間で6試合という過密日程の中、選手達は連戦にも関わらず頑張ってくれました。

試合に出場する選手はもちろんですが、出場しない選手も雑用や試合準備などしっかりやってくれてまさに全員で戦い抜いてJFL昇格を勝ち取る事ができました。

FC Mi-Oはサッカーを通じて地域貢献するために草津市内で小学生を対象にしたサッカースクールや幼稚園児を対象にしたキッズスクールを行っており、FC Mi-OのTOPチームは子供達に夢を与えるためにJリーグを目指し、日々練習に励んでいます。Jリーグを目指すには皆様の応援が必要です。2008年度は湖南市民グラウンドがホームグラウンドとなりますので皆様是非応援の方をよろしくお願い致します!!

2008年度JFLは湖南市民グラウンドがホームに!

2008年度 関西リーグ(Ⅱ部)に昇格!

滋賀FC BIWAKO.S.C.HIRA

滋賀FC



この度、関西府県リーグにおいて優勝し、関西Ⅱ部リーグへの昇格が決まりました。チーム結成3年目で、やっとの思いで第一ステージをクリアすることができました。結成以来、多くの皆様方よりご支援、ご協力いただきありがとうございました。この結果に満足せず、これからも一つずつ、上のカテゴリーを目標にし努力してまいりたいと思います。また、これからも滋賀県サッカー界の発展に貢献できるよう頑張ります。今後とも応援よろしくお願いたします。

第42回(2007年度)関西府県リーグ決勝大会 — 2007.12.2~2008.1.20 —

滋賀FC(滋賀1位)…優勝

予選リーグ) Bブロック

vs 海南クラブ(和歌山1位) 6-1
vs 龍谷キッカーズ(京都2位) 8-0

【決勝トーナメント】

準決勝: vs セントラルSC(兵庫1位) 2-1
決 勝: vs BIWAKO.S.C.HIRA(滋賀2位) 2-0

背番号	ポジション	氏名	出身
1	GK	杉本 聡	マツチンFC(守山北高)
2	DF	眞野 勝也	中央学院大
3	DF	奥村 敏樹	石山高
4	DF	谷口 浩平	中央学院大
5	DF	上田 晋也	佐川印刷SC(守山北高)
6	MF	前川 賢司	野洲高
7	FW	岩田 尚記	三菱水島(44学園)
8	MF	本間 匠	東海大(渋谷幕張高)
9	MF	橋爪 祥	同志社大(サガノス)
10	FW	斎藤 剛	関西学院大(比叡山高)
11	MF	西郷 聖士	中央学院大
15	DF	市川 亮一	慶生社(守山北高)

背番号	ポジション	氏名	出身
16	FW	前田 泰吾	大阪学院大(伏見工)
17	DF	木村 文介	伏見工業
18	FW	梅辻 大輔	八幡商業高
20	MF	保田 慧	綾羽高
22	DF	西 由貴	野洲高
23	GK	松岡雄三郎	同志社大(鹿角島実)
24	MF	土井 鉄平	野洲高
25	MF	西崎 圭祐	草津東高
26	DF	中島 毅	伏見工業
27	MF	奥田 健斗	野洲高
36	MF	堀野 誠	草津東高

BIWAKO.S.C.HIRA

1月20日の入替戦を経て、この関西2部リーグに昇格することができました。これは5年間滋賀県サッカー協会をはじめとする、滋賀県サッカー関係者の方々の協力無くては達成することができなかったと思います。学生だけのチームとあってたくさんのご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

自分たちとしても、ここまで来ることがとても苦しく長い道のりでした。だからこそ関西リーグに対する執着心は非常に大きいものです。サッカーでももちろんのことながら、その他運動面においても「学生だから」と言われないよう精一杯努力していきます。

今回の昇格によって滋賀県のチームとして「らしく」戦い、滋賀県サッカーに貢献できるよう一生懸命に次のステージでも精進していきます。今後ともご迷惑をかけてしまうこともあるとは思いますが、滋賀県の一代表として2008年度から関西2部リーグに必死で臨んでいきます。

第42回(2007年度)関西府県リーグ決勝大会 — 2007.12.2~2008.1.20 —

BIWAKO.S.C.HIRA(滋賀2位)…準優勝

【予選リーグ】 Cブロック

vs 韓国エンジニアリング(大阪1位) 2-1
vs JST(奈良2位) 2-0

【入れ替え戦】

vs 紀北蹴球団(関西リーグⅡ部8位) 3-0

【決勝トーナメント】

準決勝: vs エストレラ津田SC(兵庫2位) 2-0

決 勝: vs 滋賀FC(滋賀1位) 0-2

ポジション	氏名	出身校	前所属チーム
GK	井上 隆	金沢北陵高校/石川	金沢北陵高校/石川
DF	中林 利仁	鯖江高校/福井	鯖江高校/福井
DF	高橋 啓	守山北高校/滋賀	守山北高校/滋賀
DF	久米 直	高槻市立高校/大阪	高槻市立高校/大阪
DF	川西 慶男	伏見工業高校/京都	伏見工業高校/京都
MF	北村 裕貴	伊勢高校/三重	名古屋グランパスエイト三好ユース/名古屋
MF	鎌倉 圭佑	和歌山北高校/和歌山	和歌山北高校/和歌山
FW	久保田雄司	大洲高校/愛媛	大洲高校/愛媛
FW	辻本 大輔	三重高校/三重	三重高校/三重
DF	伊藤 太亮	中京高校/岐阜	中京高校/岐阜
FW	青木 大樹	岐阜工業高校/岐阜	岐阜工業高校/岐阜
DF	柴田 淳史	若狭高校/福井	若狭高校/福井

ポジション	氏名	出身校	前所属チーム
MF	吉田 龍司	洛南高校/京都	洛南高校/京都
FW	飯塚 達介	静岡西高校/静岡	静岡西高校/静岡
MF	貝崎 佳祐	長良高校/岐阜	長良高校/岐阜
MF	吉崎 清生	磐田東/静岡	磐田東/静岡
GK	古米 真幸	金光大阪/大阪	金光大阪/大阪
DF	松元 裕也	守山北高校/滋賀	守山北高校/滋賀
MF	原ノ田大将	今宮高校/大阪	今宮高校/大阪
DF	田中 瑛	桃山学院高校/大阪	桃山学院高校/大阪
FW	玉津 一樹	木本高校/三重	木本高校/三重
DF	山崎 俊希	岐阜山高校/京都	岐阜山高校/京都
MF	若松 宏之	鎌倉川高校/兵庫	鎌倉川高校/兵庫
MF	青原 真心	屋久島高校/鹿児島	屋久島高校/鹿児島
FW	村中 大悟	金沢西高校/石川	金沢西高校/石川
FW	山中 公平	摂津高校	摂津高校

冬の全国大会結果

野洲高校

第86回全国高等学校サッカー選手権大会

1回戦 12月31日 1 (0-0) 0 荻崎 (山梨)

2回戦 1月2日 0 (0-0) 1 東福岡 (福岡)

監督…山本佳司、コーチ…岩谷篤人
コーチ…北村仁史、コーチ…村田 稔
コーチ…広岡達也、キーパー…野田幸宏
トレーナー…榎野哲也、部長…水谷智宏



【メンバー】

背番号	ポジション	名前	学年	U-15	U-12
1	GK	青木 涼平	3	ヤスクラブ	愛知ホワイトスター
2	DF	青木 亮都	3	葉山中	野洲JFC
3	DF	西口 諒	2	AC_SF IDA	志津少年サッカークラブ
4	DF	松原 賢志	2	京都パルサンガ	希望ヶ丘SSS
5	MF	内久保 亮	3	エルフ水口	伴谷SSS
6	MF	上田 大輔	2	セゾンFC	豊郷SSS
7	MF	藤野 友貴	2	セゾンFC	大津JFC
8	MF	潮入 啓太	2	セゾンFC	セゾンFC
9	FW	池田 卓也	3	京都レジョーネ	FC鷲峰
10	FW	坂本 一輝	2	石部中	石部南サッカー少年団
11	MF	木村 竜也	3	彦根南中	亀山SSS
12	MF	梅村エイジ	3	ヤスクラブ	野洲JFC
13	DF	福本 匠吾	2	ヤスクラブ	桐原JFC
14	FW	松永 俊吾	2	京都パルサンガ	瀬田南スポーツ少年団
15	MF	野村勘太郎	2	桂中	桂川小
16	MF	富田 慧	2	エルフ水口	伴谷SSS
17	GK	横江 諒	2	セゾンFC	山田JFC
18	FW	福原 拓己	2	ヤスクラブ	プライマリサッカークラブ
19	MF	中川 圭右	2	ヤスクラブ	野洲JFC
20	GK	山本 篤	2	AC_SF IDA	笠縫オレンジボーイズ
21	MF	林 晃佑	2	AC_SF IDA	山田JFC
22	DF	高階 翔	2	立花VIVORIO	立花サッカークラブ
23	MF	梅村 榮	1	セゾンFC	笠縫オレンジボーイズ
24	DF	星 克弥	1	ガンバ大阪	新旭SSS
25	MF	卯田 堅悟	1	セゾンFC	笠縫オレンジボーイズ

蒲生サッカースポーツ少年団

バーモントカップ第17回全日本少年フットサル大会

◆一次ラウンド 1月4日 東京駒沢体育館

グループD	利府	蒲生	あぐり西町	勝点	順位
利府しらしJFC(宮城県代表)		5 〇 2	2 〇 3	3	2
蒲生サッカースポーツ少年団(滋賀県代表)	2 〇 5		3 〇 9	0	3
あぐり西町フットボールクラブ(長崎県代表)	3 〇 2	9 〇 3		6	1

監督…高森祐二、コーチ…改田俊次

◆フレンドリートーナメント(1次ラウンドの各グループ3位) 1月5-6日

フォルテFC熊本ジュニア(熊本)	2
FC solceu(京都)	3
静岡・城内フットボールクラブ(静岡)	5
蒲生サッカースポーツ少年団(滋賀)	3
3PK4	
3PK1	

1月4日(金)から6日(日)まで、東京の駒沢体育館で開催されたバーモントカップ全国決勝大会に滋賀県代表として参加した。

結果は、宮城県代表の利府しらしJFCに2-5で敗れ、長崎県代表のあぐり西町FCには3-9で敗れて、残念ながら予選リーグ敗退となった。

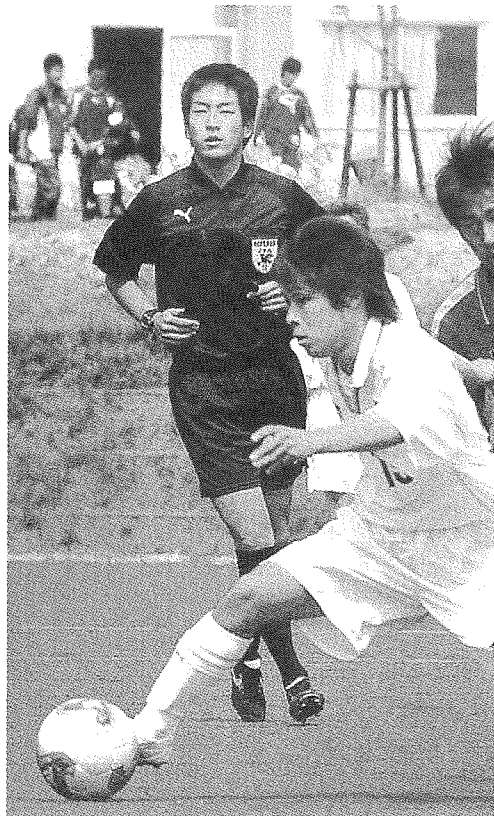
今回の一番の敗因は、攻守における切替のスピードの差だったと感じる。対戦チームはボールを失ってから、すぐにゴール前で数的優位を作られ、失点してしまう。また攻め急いでパスミスをしてしまうとあっという間にゴール前で数的優位を作られ、失点してしまう。

そして速攻がかけられない場合は逆にじっくりと後方でポゼッションし、あわててパスミスをする事が少ない。全国大会を勝ち抜くためには、まずはこのあたりを改善していかないとはいけなないのではないかと感じた。

またこれは言い訳にすぎないが、滋賀県大会でチーム内得点王だったキャプテンが、ウィルス性の腸炎にかかってしまい、予選リーグで使えなかったのは敗北だった。

今回は応援してくださった皆様の期待に応える事ができずに残念だったが、選手達は本当によく戦ってくれた。この貴重な経験をぜひ今後活かしてほしい。





●村井 良輔 大津市月輪 在住
 年齢：27歳
 職場：日本メンテナンスエンジニアリング株式会社 勤務
《サッカー歴》
 瀬田東スポーツ少年団
 瀬田北中学校サッカー部
 北太津高等学校サッカー部
《審判歴》
 1996 四級審判員 取得
 1999 三級審判員 取得
 2001 二級審判員 取得
 2008 一級審判員 取得

1級 審判員が 誕生

村井良輔さん(27才)

「感謝と喜び」 一級審判員 村井 良輔 (滋賀県)

Jリーグの開幕を控えて日本リーグで人気のあった、カズ、武田、ラモスの所属する読売クラブに憧れてボールを蹴り始めた小学校四年生が私のサッカーの始まりだった。

朝から晩までサッカーに明け暮れる生活が続き高校一年生の時には三年生の試合に出場できるまでに成長していた。しかし、二年生の時に膝の故障で練習を見学しなければならぬ日々が続いていた頃「練習試合の審判をしてくれないか」と恩師に言われた。

というのもそれまでに、講習会に参加し四級の資格を得ていたからだ。その後恩師からの要望も徐々に増え審判と言えば村井とチーム内で言われ始めるようになった。

又、自らも審判というものに意欲や楽しみを見出し、爽快感を感じるまでになっていた。これが私と審判の出会いでした。実は、私の父は当時の現役二級審判員、部活の恩師も二級審判員という状況であり、審判着やグッズも揃っており、学校へ行けば恩師から指導を受け家に帰れば父からという素晴らしい環境にあった、その頃から選手よりも審判という形でサッカーに対する楽しみを見つけだしていた。その頃夢に描いていたのはワールドカップのファイナル主審。関西レフェリースクールという短期の審判養成学校で三級審判員の資格を取得し、Jリーグ審判育成コースにも参加させて頂きここで経験と県内の方の指導のお蔭で二級審判員資格を取得した。

その後、関西で一級候補として推薦して頂き、更にレベルの高いカテゴリーの試合を担当してきた。また、2006年からは、JFAレフェリーカレッジに進み、更に充実した審判活動を終え2007年12月に晴れて一級審判員昇級通知をいただいた。今も夢は昔と変わらない、競技者が試合中に不安や迷いが無く、全力でプレー出来る環境を作る事が自分の仕事と考える。自分の担当する試合は『一期一会』目の前の試合をひとつひとつ大切に全力で行っていきたくと思っています。

今までご指導、応援、サポート頂いた方々に深く感謝致します。本当にありがとうございました。さらにレベルアップできるよう努力していきたくと思います。

今後もご指導宜しくお願い致します。

「JFAレフェリーカレッジ」

日本サッカー協会は2002年10月に「キャプテンズ・ミッション」を掲げた。その中のミッション5に「エリート養成システムの確立」というものがあり、その一環でレフェリーカレッジが開校された。レフェリーカレッジとは25歳以下の若手審判員を全国から5.6名に絞り、二年間をフルに活かした養成カリキュラムを用い、トップレフェリーになりうる人材にまで育て上げる。専任インストラクターの指導の下、定期講習（東京にある日本サッカー協会で、金曜日から日曜日の三日間を月に二回）と集中講習（一週間の合宿形式を年に四回）を二年間受講し二年後には日本で最高ランクの審判資格（一級審判員）を取得する為の試験に受験するというものである。また、授業内容も多種多様で、栄養学・運動生理学・メンタルトレーニング・フィットネストレーニング・スポーツ社会学・技術部からの指導・サッカーの精神と歴史・レフェリーマインド・VTRでのレフェリング分析・競技規則・海外研修、等である。

審判を行う為に必要な人間性や、自らが成長する為に必要な自己分析能力を伸ばすことができる。

■2008シーズン Jリーグ・JFL担当審判員カテゴリー表

構成人数	カテゴリー	主審	副審
	J1	21 (7)	38 (7)
	J2	14	22
	JFL	27	
	合計	122名	

1級審判員の2008年シーズンのカテゴリー表です。

() 内の数字は国際審判員の人数

シーズンの途中にゲーム評価に基づきカテゴリーの見直しが行われる
 滋賀県の今村義朗氏はJ2主審、滋賀県の村井良輔氏はJFL担当に分けられた。

●滋賀の審判活動

県内の審判員の構成人数は別表のとおりです。県内の審判委員会の活動を紹介しておきます。

定例審判委員会は、毎月第2土曜日に開催し、審判に関するあらゆる情報の伝達や競技規則などの共通理解の場としています。また、審判員への指導については、インストラクターの派遣を定常化させています。昨年11月には、上級審判員の養成および強化と地域の審判指導者の研修を目的に、JFA前審判委員長である高田静夫さんを招聘し、滋賀県審判トレセンを開催しました。その際、ご教授いただいた審判テクニカルトレーニングに眼を向け、県内活動として定着させていきます。

昨年12月から県内独自でレフェリースクールを開校し、10名の参加があり、4級審判員の強化に乗り出しました。ここ2～3年間で、県内の若い審判員の成長は目ざましく、1級審判を視点において日々活動しております。特に2008年の1級候補として関西協会から推薦された植田文平さん、関西カテゴリーIIで活躍中の宇田祥也さん、三浦海さんは20歳台の前半であり、将来の1級審判員としての活躍に期待を膨らませています。指導陣は、引き続き意欲的な高校生、大学生など若い審判員の輩出とベテラン審判員の資質向上に眼を光らせていきます。

さて、審判員不足は、各地域でも深刻な問題です。選手、ベンチからの苦情や抗議を受けることが割に合わないのが主な理由であると伝え聞いております。

しかし、ゲームを上手くコントロールした後の充実感や達成感は、選手達がチームとして勝利するのとは、また違った爽快感が心を包みます。

上級審判員になれば、どんなに良い特等席よりも間近で、高い技術のゲームが見られるのも審判のうれしいところの一つですが、「良いゲームには良い審判がいる」の信念と強い意志を持っていただき、滋賀県サッカーの発展に若いあなたの力を貸して下さい。

君の笛が世界を裁く!!!

■滋賀県内のサッカー・フットサル審判員の1～4級の構成人数

カテゴリー	サッカー	フットサル
1級	2	0
2級	22	6
3級	97	10
4級	1,683	97
合計	1,804	113